



11月15日（日）は創立記念日のため、外来診療を休診とさせていただきます。

いのうえ はるひろ

◆巻頭言 消化器センター長・教授 井上 晴洋



ごあいさつの機会をいただきましてありがとうございます。時が経つのは早いもので、昭和大学江東豊洲病院も、その船出から1年半があっという間に過ぎました。私自身、昭和大学横浜市北部病院で13年間、仕事をさせていただきまして、その後、当院（昭和大学江東豊洲病院）で引き続き働かせていただいております。そもそも昭和大学江東豊洲病院は、主に昭和大学の4病院から多大な人的支援を得て始まった病院です。優秀な人材を送り込んでいただいた各教室に感謝に堪えません。綺麗な建物、長年に渡り昭和大学で培われた優れた医療システム、優秀な人材よりなるこの素晴らしい病院で働けることを心より誇りに思いますし、感謝しております。わたくしどもは、地域の基幹病院として、救急、医療連携をはじめとして、各専門科とも緊密な連携を取りながら、“至誠一貫”、患者サービスの向上に日夜邁進しております。土日祝日診療も麻酔科、手術室、病院スタッフの全面のご協力のおかげで、ほとんど平日同様に仕事をさせていただいております。

さて消化器センターでは、消化器の患者さまが入院されてきますと、上部疾患、下部疾患、肝胆膵疾患の専門に分かれて、内科医・外科医の合同チームが受け持ちます。内視鏡、超音波などの検査から、大手術まで一貫して、内科・外科の合同チームで診療にあたります。たとえば、内視鏡検査時の鎮静には特別の配慮をおこなっておりまして、「苦しくない内視鏡」から、「快適な内視鏡」をスローガンに、患者サービスの向上に努めております。

開院以来、たくさんの患者さんを紹介していただいた医療機関の先生方に感謝すると同時に、今後とも昭和大学江東豊洲病院の発展と地域医療に少しでも貢献できればと願ってやみません。



昭和大学江東豊洲病院

第19号のトピックス

- 巻頭言 消化器センター長
- PSAスクリーニング
キャンペーン
- DMAT活動報告
- お爺ちゃんに花嫁姿を

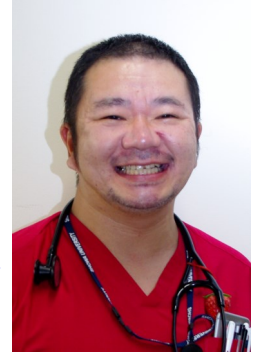
◆ P S Aスクリーニングキャンペーン 泌尿器科 深貝 隆志

近年日本では高齢男性に多く発症する「前立腺がん」が急増しており、国立がん研究センターの予想では2015年は男性の癌の患者数は胃がんを抜いて前立腺がんが最も多くなることが予想されています。この前立腺がんは、ほんの僅かな血液で検査可能な「PSA」という蛋白質を測かるだけで発見可能なことが知られています。今回この前立腺がんとPSA検査を広く知ってもらう目的で泌尿器科主催により10月4日から10日にかけて「PSAスクリーニングキャンペーン」が実施されました。初日の10月4日(日)には9階講堂にて公開講座「前立腺がんってどんな病気？ PSAって何ですか？」が開催され、当院泌尿器科メンバーより「前立腺がん」「PSA」についてわかりやすい講演がおこなわれました。会場は関東広域から来場した100人以上の参加者で埋め尽くされ、公開講座の後は検査科スタッフの協力によりPSA検査が実施されました。また10月5日から10日には当院2階受付前に特別ブースが設けられ、ここでも無料PSA検査が行われました。この期間に病院周辺在住の地元の方、院内で内科など他科を受診した患者さん、また一部病院の職員の方たちも訪れ最終的には300人近い男性がPSA検査を受けました。泌尿器科では前立腺がんて亡くなる方を一人でも減らすために今後も定期的なイベントとして行う予定です。



◆DMAT活動報告 小児内科 森田 孝次

江東区は昼間人口約50万人、夜間人口約45万人の区で、東京湾北部にM7.3の地震が起きた際の想定傷病者は1万人を超え、重傷者は1500名以上が見込まれています。この圧倒的大多數の傷病者の前で、それぞれの使命感と想いを胸に「目の前の傷病者」から診始めたのでは現場が混乱します。そのため災害現場では活動（TTTと呼びます）を行う前に指揮命令系統（CSCAと呼びます）を立ち上げ、その指揮下の元に安全に活動を行う必要があります。



今回の訓練は、それらCSCA（注1）の部分の確認として、地域の拠点病院や有明に設置したSCU（注2）との連携、情報の共有などがスムーズに行えるかを目的とした訓練でした。約100名程度の中等症・重傷患者が発災直後にトリアージされ、治療が開始されている中、他県DMAT隊が当院に到着、院内担当者である自分と病院支援の指揮所を立ち上げ、情報の管理や通信手段の確認を中心に行い、2

次トリアージによって域外搬送の優先順位の決定および実際に搬送するために情報の共有等を行いました。

と書くと、まるで訓練がスムーズに行えたように見えますが、実際にはDMAT用のネット支援ツール（EMIS）はパンク、災害電話もパンク、衛星電話も受信側がうまく受信できず、他施設との情報の共有の部分で課題が残りました。ですが、課題が見つからない訓練は意味が無いと信じ、より良い備えに繋げてゆきたいと思います。



他院DMAT隊

災害はいつ起こるかわかりません。「いま、目の前の人を救う」「大切な人の笑顔を守る」ために、皆さんも一緒に備えて行きませんか？

注1 CSCA:Command and Control/Safe/Communication/Assesmentの頭文字をとったもの。

災害時に最も必要な組織体制のこと。

注2 SCU:Staging Care Unitの略で、広域搬送の際にヘリポートや空港等に臨時で作る医療拠点

入院中のお爺ちゃんに花嫁姿を！

結婚式を翌日に控えた方から、入院中のお爺ちゃんに花嫁姿を見せたいと相談があり、担当医と病状確認して実現しました。

当日は晴天にも恵まれ、花嫁姿を見たお爺ちゃんは感動で涙が止まりませんでした。

最後に集合写真を撮り和やかな雰囲気になりました。お幸せに・・・



なかむら あきおう

編集後記 中村 明央

心地よい風と見上げる雲に秋を感じる季節となりました。早いもので今年もあと2ヶ月です。11月号では、9月1日に行われた災害派遣医療チームDMAT（広島部隊）とのシミュレーション訓練、10月4日に行われた市民公開講座でのPSAスクリーニングキャンペーンについて特集しております。是非、拝読ください。広報委員会では、病院内外での活動をわかりやすく、お伝えすることに努めております。よろしくお願いいたします。